



下 都 第619号  
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

下関市長  
江 島



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、日頃から本市の道路行政に対し格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご依頼ありました標記の件に関し、本市の道路整備をとりまく現状を含め、以下ご意見を申し上げます。

◎下関市の道路整備に取り組む目標

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 災害等に強い道路整備 (安全・安心) | ～高潮、異常降雨、土砂崩れ～           |
| 2. 主要渋滞ポイントの解消        | ～慢性的な渋滞ポイント市内11箇所～       |
| 3. 交通安全対策             |                          |
| 4. 歩行者や自転車等に配慮した道路整備  | ～バリアフリー基本構想、サイクルタウン下関構想～ |
| 5. 広域・地域連携を促進する道路整備   | ～関門海峡道路、山陰道～             |

本市は、本州の最西端に位置し関門海峡を挟んで九州と、また響灘、対馬海峡を隔てて韓国とも相対しております。このような地理的条件から、古くより山陽、山陰、九州との交通結節点として栄え、中国縦貫自動車道、国道2号、9号、191号などの幹線道路や、山陽新幹線、山陽本線等の国土幹線、また国際的にも関釜フェリー航路や、その他中国をはじめとする東アジアとの国際航路があり、海陸の幹線交通網が集中しております。

一方、平成17年2月13日、旧下関市と旧豊浦郡4町が合併し、南北約50km、東西約35km、東京23区の約1.2倍の約716㎡の面積を有する新市が誕生し、同年10月1日には、山口県初の中核市として大きな発展の可能性を持った都市となりました。新市の一体性の速やかな確立及び均衡ある発展のために、行政サービスの質の向上や公共施設の整備を推進する必要があります。また、近年におけるライフスタイルの多様化、高度情報化、少子高齢化、経済のグローバル化等により、社会・経済状況が大きく変貌する一方、地方分権改革など地方自治を取り巻く環境も大きな変革期を迎えています。合併した本市も、地域特性を活かした活力あるまちづくりを行っていく必要があります。平成19年

度から8年間を展望したまちづくりの基本理念及び将来像の実現を図るための施策等を示した「下関市総合計画」を策定し、本年より総合計画に基づいた各施策がスタートしたところであります。

本総合計画において、まちづくりの基本理念を「自然と歴史が織りなす交流都市～自然と人、人と人、ふれあいで輝く共創のまちづくりを目指して～」とし、この理念を踏まえ目指すべき7つのまちづくりの将来像である「情報があふれ、活動しやすい便利なまち（都市基盤）」、「人と自然にやさしく安全で安心して暮らせるまち（自然環境、生活環境）」、「将来に希望をもって意欲的に働ける自立したまち（産業振興）」、「観光や交流から生まれる多彩で魅力あるまち（観光振興）」、「誰もが健康で、ふれあいを大切にした温かみのあるまち（保健・医療・福祉）」、「地域の特色を活かしたまなびのまち（教育・文化）」、「市民も企業も行政もみんなで担える元気なまち（協働のまちづくり）」を設定いたしました。これらの基本理念や将来像に基づき、広域化した本市における地域別まちづくりの方向として、地域特性や既存施設の立地状況などを踏まえ、「農林水産業振興ゾーン」、「田園住宅ゾーン」、「観光・レクリエーションゾーン」、「都市拠点ゾーン」の4つのゾーニングをし、各ゾーンを連結する道路等交通網や情報ネットワークを「地域連携軸」として位置づけ、その機能維持・強化を図ることとしております。新市の一体性の速やかな確立、地域の特色を活かした均衡ある発展を進めるために、道路は、医療・福祉、観光・産業振興をはじめ幅広い分野に密接に関連する最も重要なインフラであり、道路整備の必要性は、合併後の本市において以前より大きく高まっているものと強く認識しております。

貴省を中心に策定中の国土形成計画（全国計画）において、新しい国土像を「多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る」とし、各広域ブロックが、東アジア等との交流・連携、資源を生かした特色ある地域戦略の展開により成長力を強化するといった視点が示され、全国計画策定後に策定予定の広域地方計画における地域戦略の立案にあたっては「国土上の自らの位置づけと東アジアでの独自性の発現」という視点が示されております。本市においては、特定重要港湾である下関港を有し、また東アジアとの総合的な交流拠点として、本市西部に位置する北浦海域に沖合人工島の整備を進めております。また、現在、日本最大の国際フェリー基地として韓国（釜山）、中国（青島、蘇州太倉）を結ぶ3航路週1.1便の定期フェリー航路を有しております。本市が有する国際的な物流・交流拠点を有機的かつ効果的に機能させ、国際競争力を強化していくためには、道路と港湾等が一体的かつ着実に推進させる必要があると認識しており、その結果、戦略的に本市の東アジアにおける独自性が最大限に発揮されるものと考えております。

以上、総括的な視点からご意見申し上げましたが、以下、今後の道路政策等に関し具体的な視点からご意見を申し上げます。

#### 1. 災害等に強い道路整備（安全・安心）

異常気象や災害発生時において、道路は、救援活動等を展開する上で緊急輸送道路等としての重要な役割を担うものであります。例えば国道9号は、市役所等行政機関・商業地

が集中する都心部と居住人口の多い山陽地区等を結ぶ重要な幹線道路であるにもかかわらず、一部区間において降雨による通行規制区間があり、また台風による越波に伴う通行止めが例年発生している状況にあります。通行止めに伴う市民生活への影響や災害時の救援活動等に支障を来すことが懸念される状況にあることから、貴局と港湾部局と連携した壇の浦地区～山陽（長府）地区における直轄海岸保全施設整備事業の早期事業化と壇の浦から長府外浦における道路改良等の早期事業化を要望させていただいております。

また、我々自治体は住民の命と財産を守るために、災害に強いまちづくりをしなければなりません。道路が寸断された場合を想定すれば、複数のアクセスルートが確保されていることが重要であります。下関市の場合、大災害が起きた時の救済は物流的にも時間的にも九州方面からと考えられます。その意味で、関門橋と関門トンネルだけでは九州と本州を結ぶ動脈にしては非常に脆弱ですので、新たな関門海峡道路の必要性も訴えており、関門海峡道路の計画路線への格上げ・早期整備を要望させていただいております。

## 2. 主要渋滞ポイントの解消

本市の道路網は、九州と本州を結ぶ国土軸を形成している中国縦貫自動車道と瀬戸内海沿いを走る国道2号と9号、日本海沿いを走る国道191号を骨格としております。地形上の制約から市域の南端の都心を中心に市の北部に向けて骨格軸が放射状に展開しているため、JR下関駅・市役所を中心とした都心部で結節する一点集中型となっております。これらを基軸に、主要地方道や一般県道とさらに幹線道路を補完する市民の日常生活に密着した市道により構成されております。産業道路と生活道路、通過交通と市内交通が混在するため、国道や主要地方道、一般県道等の交差点等を中心に慢性的に渋滞が発生しており、県内主要渋滞ポイント47箇所のうち11箇所が本市に集中しております。慢性的な渋滞の発生は、市民の日常生活への影響はもとより物流輸送等の時間損失につながるものであり、例年その早期改善に関し貴省へ要望させていただいているところです。具体的には、国道2号における下関拡幅事業の早期整備推進及び長府印内町～一の宮町区間の渋滞緩和と長府トンネルの歩行者等の安全確保、国道9号壇の浦～長府外浦における道路改良等の早期事業化、国道191号下関北バイパスの早期整備推進等であります。

## 3. 交通安全対策

交通事故防止等の交通安全対策に関しては、官民共同となりソフト対策も含め総合的に取り組むべき課題と認識しております。本市においては、平成18年10月10日にご当地ナンバーとして「下関ナンバー」が導入され、本市のイメージアップを図るため、交通マナー日本一を目指した「めざせ！交通マナー日本一」キャンペーン等を実施しております。一方、交通事故が同じ地点で多発する傾向にあることから、国道部分においては、国道2号下関拡幅事業、国道9号壇の浦から長府外浦における道路改良等の早期事業化等を要望させていただいております。

## 4. 歩行者や自転車等に配慮した道路整備

本市においては、自転車が日常生活や観光の移動手段として、安全かつ快適に走れる環境の整備を目指すもので、自転車が歩行者や自動車と共存する「自転車にやさしいまちづ

くり」を積極的に推進することとしております。本市は、全国15のサイクルモデルツア一地区の1つに貴省より指定されており、また平成16年に「サイクルタウン下関構想」を策定致しました。その取り組みの一環として、主要駅周辺の自転車駐車場の整備をはじめ、平成17年には市民・観光客に観光拠点をレンタルサイクルで巡っていただく社会実験「源平チャリ」を実施しました。今後も、まちづくり交付金事業などの地方を支援する新たな国の制度を活用し、まちなかの移動手段の多様化に対応できる試みを行っていきたいと思っております。また、平成18年秋には、合併でより豊かになった新市の魅力を自転車に乗って体感できるサイクリングイベント「しものせきサイクルマラソン2006」を多くの市民や関係団体のご協力を得ながら、県内外から多くの参加をいただき開催したところです。また、本イベント実施にあたっては、道路管理者である貴省や山口県から全面的なご協力を賜ったところであります。今後も、官民一体となってソフト面を含めた自転車利用促進策を総合的に実施していく所存でありますが、依然として、歩行者や自転車利用者にとって十分な幅員の道路が確保されているとはいえない状況にあります。特に国道9号は、優れた景観を誇る関門海峡沿いを通過し、沿線には市立しものせき水族館「海響館」をはじめ、唐戸市場、壇の浦古戦場、瀬戸内海国立公園火の山、城下町長府等の観光スポットが集中しておりますが、一部区間においては歩道等が狭小な部分もあり、素晴らしい景観を堪能できる道路であるにもかかわらず、観光ルートが途切れている状況です。市民や観光客が潮風を感じながらのんびりと自転車により散策可能な環境整備が必要と強く感じております。貴省により、壇の浦古戦場周辺における国道の歩道・自転車道整備に取り組んでいただき、また、今年度より市役所が所在する唐戸地区から壇の浦地区までの電線地中化工事に取り組んでいただくものと承知しております。今後もなお一層促進いただけるよう、自転車利用環境の向上と併せ、前述致しました防災上や交通安全上の観点からも、国道9号の壇の浦から長府外浦における道路改良等の早期事業化を要望させていただいているところです。

また、本市においては、平成17年2月に「下関市交通バリアフリー構想」を策定し、JR下関駅周辺地区とJR新下関駅周辺地区2地区の重点整備地区において、平成22年を目標年次として、公共交通事業者、道路管理者、交通安全管理者等と連携してバリアフリーに関する諸施策を実施することとしております。また、駅周辺道路を特定経路とし、集中的に歩道設置、歩車分離、段差・勾配・凹凸の改修、視覚障害者誘導用ブロック設置・改良等の整備を推進することとしております。本格的な少子・高齢社会を向かえ、誰にも優しい道づくりが求められており、ユニバーサルデザインやノーマライゼーションの推進は必要不可欠なものと考えております。

## 5. 広域・地域連携を促進する道路整備

本市は、その地理的特性から本州と九州、山陽と山陰との交通の結節点として物流・人的交流が盛んに行われ、またアジアとの交易の窓口として発展してきました。

関門海峡道路（地域高規格道路下関北九州道路）につきましては、本州の最西端に位置した本市の地域的要因や、古くからの海運物流基地としての歴史的経緯を踏まえて、また、関門国道トンネルの老朽化に対するリダンダンシーとしての機能、さらには、東アジアに向けての特定重要港湾関門港としての物流の機能向上のためにも関門地域において「真に

必要とする道路」であり、早期の事業着手が望まれ、地元経済界等一体となった期成同盟会が組織され、計画路線への格上げを要望させていただいております。

山陰地域においては、山陽地域との地域間格差を是正するため、自然・歴史・文化を中心とする豊富な資源や財産を有効に活用した地域の活性化や、特色ある地域づくりを進めていく必要があります。そのためには、従来から、経済的に結びつきの強い県西部の山陰地域、山陽地域と北部九州との広域的な交流・連携を促進する規格の高い道路整備が喫緊の課題となっております。とりわけ、山陰道は、合併した本市においては、本市総合計画にも示されている通り、地域間連携を促進する南北の骨格軸としての役割を担うことが期待される重要な道路であります。観光の振興による交流人口の増加や、農林水産業や一般生活に関連する物流の円滑化により地域産業の振興へ大きく寄与することが期待されます。従って、山陰道については規格の高い道路として事業着手し早期整備を図ることを要望させていただいております。

以上、ご意見申し上げたところですが、我が国の社会・経済状況が大きく変化し、市民のニーズは多様化し、国際・都市間・地域間競争の時代へと突入した中で、地域の特色を最大限に発揮した魅力あるまちづくりを推進していく上で、道路は、最も重要なインフラであります。上記縷々申し上げた諸点は、道路整備に求められる必要最低限のニーズであると認識しております。これらに加え、既存の道路施設における適切な維持管理が実施されることを前提に、重点化や効率化の議論が行われるべきと考えられます。

最後に、従来からの貴省からの多大なるご支援・ご協力に対し改めて厚く御礼申し上げ、また中期的な計画の作成にあたっては、地域の実状をよく踏まえられ実効性の高い計画を策定いただきますよう切にお願い申し上げ、本件に係る意見とさせていただきます。